

4 小学校編

(1) 各教科の結果・分析の概要

【国語】

- 話し手が伝えようとしている内容を正しく聞く力、登場人物の心情を想像しながら読む力、述べられている内容を正しく読む力、漢字の意味を考えて熟語を作る力、漢字を正しく読む力などが身に付いている。
- 優れた表現の効果を考えながら読む力、事実と筆者の考えを区別して読む力、文章や資料、グラフや図表等を読んで考えたことを、根拠や理由を明らかにして決められた字数で書く力、前の学年までに学習した漢字を正しく書く力などは、今後一層高めていく必要がある。

【社会】

- 基本的な事項、用語、社会的事象の意味などはおおむね理解できている。また、絵資料から事実を見つけたり、グラフから正しく数値を読み取ったりするなど、基本的な資料を読み取る力はおおむね身に付いている。
- 複数の事象を比較、関連付けて資料を読み取り、考える力、自分の考えを目的に応じて適切に表現する力、縮尺を活用して実際の距離を求めるなど、学んだことを活用する力などは、一層高めていく必要がある。また、歴史学習において近現代史の学習を確実に実施する必要がある。

【算数】

- 小数や分数の加減乗除などの計算技能が身に付いており、直線の平行や垂直、図形の体積の求め方などについてもよく理解されている。また、昨年度まで課題であった、数量の関係を○、△などを用いて式に表す力については改善されてきている。
- 図形の面積の求め方を考える力がやや弱い。また、長方形の性質の理解や展開図を組み立ててできる立体の名称の理解にも課題がある。既習の図形の面積の求め方に帰着して考えたり、算数的な活動を通して基本的な図形を理解したりする力を、今後一層高めていく必要がある。

【理科】

- 発芽後のインゲンマメの様子の変化など基本的な内容はよく理解されている。また、気体検知管の正しい目盛りの読み方等の観察・実験の技能、線香の煙と空気の動きを結び付けて、ろうそくの炎が燃え続けることを考える等の科学的な思考力は、おおむね身に付いている。
- 一つの条件を制御し、その他の条件を統一しながら、実験を計画的に行う力や、自然事象の変化とそれにかかわる要因を関連付けて思考し、自分の考えを的確に表現する力は、今後一層高めていく必要がある。